

派遣留学の期間も残り1ヶ月を切りました。先日、飛行機の予約を済ませました。今学期が終わり次第帰国する予定です。

今月は引き続き冬学期の授業を受けながら研究を進めていました。研究のために Machine Shop を利用する機会が何度かあったので、少し詳しく紹介します。Machine Shop は教室がある建物の地下に位置しており、土木系の水を使った実験をする施設などと同じフロアにあります。学生ならば誰でも利用でき、道具や設備の貸し出しは特に管理されていません。技師にあたる教員が一人いますが、常に Machine Shop に滞在している訳ではありません。KIT の夢考房のようなパーツショップはありません。学内の別の場所で電子部品は少し入手できるのですが、ボルトやナットなどの機械部品が必要な場合はホームセンターなどに行くしかありません。私が Machine Shop で利用したのはハンマー、ボール盤、バンドソー程度でしたが、非常に古い物で整備状態はあまり良くありませんでした。フライス盤や旋盤は見ただけですが、それほど悪い状態ではないようでした。ネジはインチサイズが基本なようです。Machine shop とは別の部屋にアクリルや木を切り抜けるレーザーカッターがあります。これは勝手に使用できず、管理している教員に CAD データと材料を渡して切ってもらいます。以前 Mechatronics の授業のプロジェクトで使いましたが、金属の切断はできないもののアクリルや木材なら非常に早く部品を作る事ができるので便利でした。切断面は比較的きれいですが、一目でわかるほどに角度がついていました。

今月に入ってから、研究活動のために部屋で機械加工を行うようになりました。加工の際には大型の掃除機程度の騒音が出ますが、周りの部屋も音楽などの騒音が出ているので今のところ特に問題にはなっていません。私が住んでいる寮が1,2年生用の寮なのもあると思いますが、寮の中は騒音が絶えません。最近図書館の個室や自習室の方が静かな事に気づいたので、自分の部屋以外で勉強する事が多くなりました。

時が経つのは早いもので、7月に Rochester の ELC に行ってから7ヶ月ほどが経ちました。最初はネイティブスピーカーの会話が聞き取れずに苦労しましたが、今は日常会話ならほとんど聞き取れるようになりました。しかし授業では専門用語や特殊な状況の説明など日常会話で聞くことの無い内容が多いので、今でも苦労しています。

今月は授業と研究に専念していたので、特にイベントはありませんでした。授業と研究で毎日忙しく、週末には時間が取れるので研究を進めています。現在はコンピュータ上で、シミュレータで使うモデルの作成をしています。帰国までにはシミュレータを使う環境の整備、また実機の製作を半分以上は終わらせておく予定です。Rose-Hulman の滞在期間は残り1ヶ月を切りました。そろそろ帰国報告会の準備を始めようと思います。